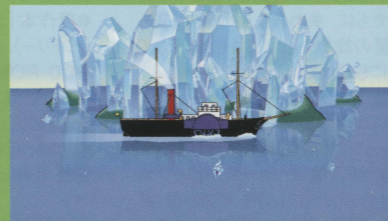


どこまでも透き通るエメラルドグリーン…夢で見た海の色だ…

美しくも温かみあるイラストレーションと滑らかな3DCGが溶け合う、
誰も見たことがないガラスの映像詩…
たむらしげるファンタス・ワールド劇場初公開上映。



声 永瀬正敏、利重剛、永井一郎、三谷昇 他 監督・原作・脚本・イラストレーション:たむらしげる ビジュアルディレクション:加藤慎也 音楽:手使海ユトロ
挿入歌「ウォーター・ピープルの歌」:原マサミ プロデュース・ディレクション:潮永光生 バンダイビジュアル提供 愛があれば大丈夫制作 メディアボックス配給・宣伝 原作本:
「クジラの跳躍」メディアファクトリー刊 ©1998 たむらしげる/MMF・バンダイビジュアル

「クジラの跳躍」に魅せられた人びと

おかだえみこ氏 映画評論家
折りからライム色のガラスの波濤を押し分けて、夜のような巨体が出現する。クジラが今、空へと飛ぶ…。一にも二にもガラスの海の美しさに尽きよう。見る人をしばし異世界、異次元の旅人に同化させる。環境ビデオに近い映像詩。美しい。

かの香織氏 ミュージシャン
体温が平熱より1度下がる。ひんやりカルムダウンしていくのだけど胸の中はいつもよりまして、温かくなっていく。不思議な現象。それがたむらしげるの魔法です。

椎名誠氏 作家
たむらワールドの扉を開くと、いつでもすぐにとどつもなく大きくてはげしくてやさしい夢が広がっている。誰もがあつい夢に向かって気持ちをたぎらせる、やすらぎの遠い世界がひろがっている。

永瀬正敏氏 俳優
時間(トキ)を軽々と跳躍し、たむら氏の作品は永遠に人々の心の中に残り続けると思う

原マサミ氏 ミュージシャン
体ごとさらわれてしまうような緑のグラデーションの無限の音階。一秒も永遠も半日も全部が同じ成分で出来ていて、僕たちは恐龍の化石よりもろまな記憶の中で寝坊したり、アシカよりもずっとじょうずに魚をとれるのだ。

南伸坊氏 作家
ものすごくキレイだった。時間や物質感を、ちょっとズラすと、あんなにキレイなシーンになるんですね。しかも信じられないくらいにテイネイにつくりこんであって、感動しました。大傑作ですね。(南氏からたむら氏への私信より)

吉本ばなな氏 作家
短い時間だったが、観終わったあと、どこか美しく気持ちのいいところに旅をしたあとのようにすっきりしていた。生まれる前とか、死んだあとにああいうところにいられたらいいと思った。

和田誠氏 イラストレーター
この作品は温もりの中にCG効果が生きているので、ほくのようなアナログ人間も脱帽いたします。温もりと書きましたが、この場合はたむらしげるの絵の温もりであって、描かれた世界はキラキラとした水晶のようであると思います。(和田氏からたむら氏への私信より)

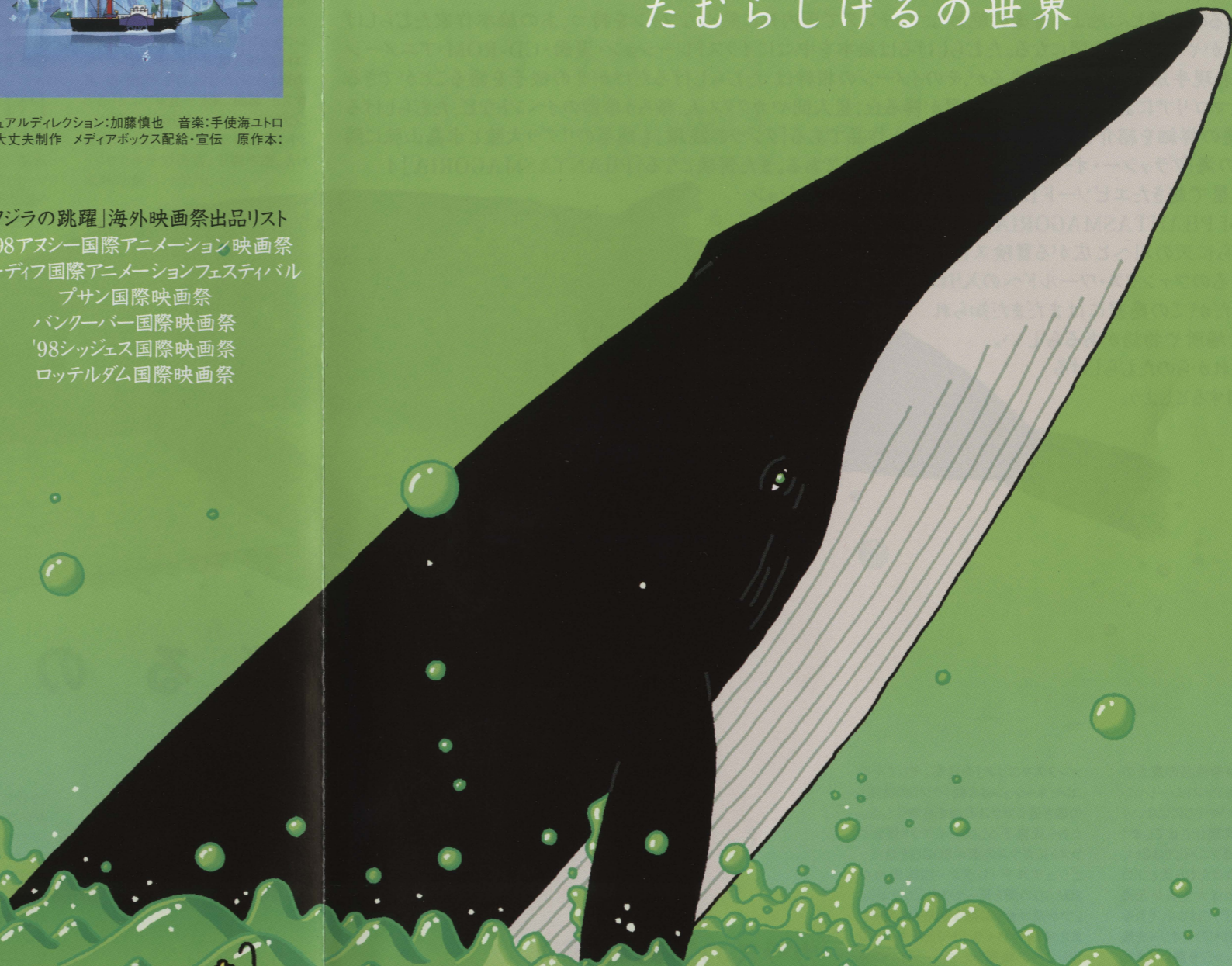
「クジラの跳躍」海外映画祭出品リスト
1998 アムシー国際アニメーション映画祭
カーディフ国際アニメーションフェスティバル
プサン国際映画祭
バンクーバー国際映画祭
'98 シュジュス国際映画祭
ロッテルダム国際映画祭

映画

Glassy Ocean
Tamura Shigeru

クジラの跳躍

たむらしげるの世界



文化庁メディア芸術祭アニメーション部門大賞受賞!!
待望のモーニング&レイトショー!!

4月24日(土)～5月21日(金)まで

モーニング あさ 10:30より 連日1回上映
レイト よる 21:30より 1回上映(日曜休映)

上映期間中 レイトショーの開始時間を変更する可能性がございます。ご注意くださいませ
前売特別鑑賞券 1400円発売中! (当日料金 一般1700円)
劇場窓口 エスト1PG チケットぴあ チケットセゾンにてお求めください

梅田ロフトB1 06(6359)1080

テアトル梅田

<http://www.theatres.co.jp/cinemabox/>

併映

「PHANTASMAGORIA」

「銀河の魚」



銀河の魚

僕らはファンタス・ワールドの入り口に立った。

透明感あふれる映像美と心地よい音楽の絶妙なマッチングで国内外に熱心なファンを持つ、あの絵本作家たむらしげるの映像作品がやっと劇場公開になる。たむらしげるは絵本を中心にイラストレーション・漫画・CD-ROM・アニメーションと多彩な表現手法を持つ作家であるが、そのイメージの根幹は たむらしげるだけがその様子を語ることができる惑星ファンタスマゴリアにある。水晶の街や流星が降る丘、星人間やカクタス人、移ろう季節のイベントなど、たむらしげるは様々な惑星の詳細を紹介してきた。今回のタイトル作品である「クジラの跳躍」も惑星のリグラ大陸と水晶山脈に隣接するガラスの海「グラッシー・オーシャン」を舞台とした物語である。また併映となる「PHANTASMAGORIA」4編は、この惑星で起きたエピソード15編を集めた短編アニメーション集「a piece of PHANTASMAGORIA」からの抜粋上映。「銀河の魚」はさらに天の川へと広がる冒険ストーリーだ。私たちはたむらしげるのファンタス・ワールドへの入り口にやっと立ったわけだが、この惑星にはまだまだ知られざる不思議な場所や物語があるらしい。その辺りはこれからのたむらしげるの作品に注目するとしよう。

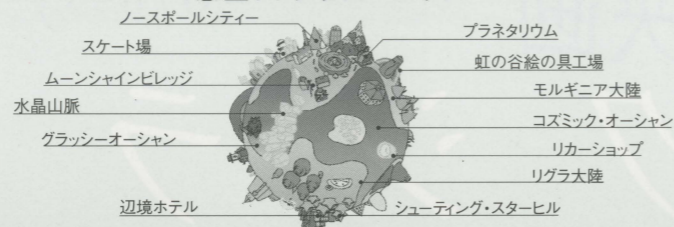
たむらしげるの映像作品の最大の特徴は原画イラストレーションの世界がそのまま、いやそこにはないイマジネーションをも具現化させてしまうところにある。いわゆるアニメ化ではない、映像化である。これはたむら氏とプロダクション・愛があれば大丈夫が元来アニメーションの専門ではなく、それゆえにアニメーション作りのセオリーを無視した無謀なチャレンジを重ねてきた結果である。1988年からコンピュータをとりいれ、組織的なアニメーション制作では出し得ないパーソナルなテイストを模索。1990年自主制作「クリスタリゼーション」を経て試行錯誤の末、1993年アニメーターの協力の元、たむら氏と数人のコンピュータ・デザイナーを中心にバンドのような気分で「銀河の魚」が完成した。それもパソコンでハイビジョン作品を。世界から注目を集め、その後1995年CD-ROM「フ

ファンタスマゴリア」を発表。そしてそのコンビネーションは今回「クジラの跳躍」の透き通るガラスの海を映像化した。たむら氏描下ろしのレイアウト原画イラストにガラスの海の3DCGを合成。ビジュアルディレクター加藤慎也が2Dと3Dの間を行ったり来たりしながら、2つが溶け合う微妙な融解点を探る。また今回のハイライトであるカメラの回りこみの軌道シミュレーションの修正は数え切れない。加藤他スタッフの1ドット単位の粘りで「クジラの跳躍」は何とか完成。陰影、反射、粒子の輝き…等、表現ごとに別けられた映像階層は、多いところ数十層にも達した。エメラルドグリーンに透き通るガラスの海が、カメラのパンニングで生き物のようにグニャグニャと屈折、反射する。たむら氏の原画イラストレーションは不思議な立体イラストレーションとして動き出した。

ガラスの海の融解点

プロデューサー
潮永光生

惑星ファンタスマゴリア



クジラの跳躍

ストーリー●ガラスの海に住む老人はある日クジラの跳躍に遭遇する。時間速度が異なるこのエリアではしづきは美しいガラス玉となり、クジラの跳躍は空中に静止したかのように見える。半日かけたクジラの跳躍は、集まった見物人たちに失われた波の音や、安らぎの星の旋律を思い出させる。そして老人にも忘れていたある記憶が…。

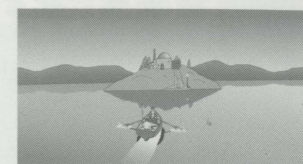
●監督・原作・脚本・イラストレーション: たむらしげる ●3DCG・ビジュアルディレクション: 加藤慎也 ●音楽: 手使海コトロ ●挿入歌: 「ウォーター・ピープルの歌」作詞: たむらしげる 作曲・歌: 原マズミ 編曲: 清水一登 ●アニメーションプロデューサー: 上田明美/プロジェクトチームサラ ●アニメーション: 大鳥りえ、柏木郷子、富田悦子 ●サウンドデザイン: 染谷和孝

●プロデューサー・ディレクション: 潮永光生 ●声: 永瀬正敏、利重剛、永井一郎、三谷昇、他 ●1998年/23分/35mm/ドルビーSRD/愛があれば大丈夫 制作/バンダイビジュアル 提供/メディアボックス 配給・宣伝: ©1998 たむらしげる/MMF/バンダイビジュアル ●原作本「クジラの跳躍」(メディアファクトリー) ●CD-ROM「たむらしげるの原画集 クジラの跳躍」'98/10/25 発売予定(バンダイビジュアル) ●サントラCD「クジラの跳躍」'98/11/1 発売予定(SPEビジュアル・ワークス)

PHANTAS MAGORIA

惑星ファンタスマゴリアで起きたエピソード15編を集めた短編アニメーション集ビデオ作品「a piece of PHANTASMAGORIA」から、たむらしげるのセレクション4編(各5分)を35mm初上映。

ストーリー●密造酒 ムーンシャイン・ビレッジのアブラムという男が作る密造酒は通称「SOAP」と呼ばれ、秘密のルートを通して惑星中に運ばれる。南の大陸 南の国にあこがれるスノーマンは雪降るヌースポール・シティからブラズマエキスプレスに乗り、南へ向かった。オーロラショウ 夜空に季節の星座を映し出す巨大なプラネタリウムの技師が話。虹の谷絵の具工場 虹から絵具を削り出す工場は最近さっぱり虹が出なくなり、閉鎖寸前に。困った工場長は何とか工場の再建を図るのだが…。●ナレーション: あがた森魚、かの香織 ●原作・監修: たむらしげる ●脚本: 津田真一 ●演出: 寺嶋章之 ●音楽: 手使海コトロ ●アニメーション: 柏木郷子、木村光宏、プロジェクトチームサラ ●プロデューサー: 潮永光生 ●1995年愛があれば大丈夫 制作: ©1995 AI ga areba Daijobu Ltd. ©1995 TAMURA SHIGERU INC. ●原作画集「PHANTASMAGORIA」(架空社) ●原作CD-ROM「Amusement Planet PHANTASMAGORIA」'98冬 再発予定/'95AMDアワード・グランプリ 郵政大臣賞、'95マルチメディアグランプリ・エンターテインメント賞 ●CD-ROM「たむらしげるの原画集ファンタスマゴリア」発売中 ●サントラCD「memories of PHANTASMAGORIA」東芝EMIより発売中



銀河の魚

●'93モントルー国際エレクトロニック・シネマフェスティバル特別賞 ●'93毎日映画コンクール大藤賞 ●ストーリー●湖の研究所に住む少年ユウリと老人は、ある日こぐま座に異様な星を見つける。それ以来天の川の星は消滅していき、こぐま座が恐ろしい怪魚のイメージに変わった。ユウリと老人は星を救出すべく、星魚が棲む銀河へとボートを漕ぎ出した。世界初のハイビジョン・アニメーションとして国内外の高い評価を得た不朽の冒険ファンタジー。 ●監督・原作・脚本・イラストレーション: たむらしげる ●音楽: 手使海コトロ ●CG・ビジュアルディレクション: 津田真一 ●アニメーションプロデューサー: 上田真一郎/プロジェクトチームサラ ●アニメーション: 賀川愛、山川浩臣、大谷敦子、村田藤吉、野中和美、西内としお ●サウンドデザイン: 染谷和孝 ●プロデューサー: 蛭田とみ代、松崎薫 ●声: 永井一郎、田の中勇、他 ●35mm/23分/Sony・SME提供/1993年愛があれば大丈夫制作: ©1993 TAMURA SHIGERU INC. ©1993 Sony Music Entertainment (Japan) Inc./Sony Corporation ●絵本「銀河の魚」(メディアファクトリー) ●サントラCD「銀河の魚」'98/11/1 再発予定(SPEビジュアル・ワークス)

たむらしげるの世界

たむらしげる

1949年東京生まれ。桑沢デザイン研究所卒業。主な絵本に「よるのさんぼ」(架空社)「ダーナ/ほるぶ出版」「ネズミのヒコキ/あかね書房」「ロボットのく」(SOS/福音館)などがある。画集「メタフィジカル・ナイツ」で小学館絵画賞。映像作品「銀河の魚/SPE・ビジュアルワークス」で'93モントルー国際エレクトロニック・シネマフェスティバル特別賞、'93毎日映画コンクール大藤賞を受賞。ニューヨーク近代美術館他、世界のフィルムフェスティバルで招待上映される。CD-ROM作品「ファンタスマゴリア」では'95AMDアワード・グランプリ郵政大臣賞、'95マルチメディアグランプリ・エンターテインメント作品賞を受賞。映像作家、デジタルコンテンツ作家としても国内外の注目をあびる。

手使海コトロ

音楽●たむらしげるとのコラボレーションはこれで4作目。ロシア国民学派を志向し、大陸的、幻想的なサウンドを構築する。中国での北京交響楽団とのコラボレーション、手塚真監督「妖怪天国」、村上龍監督「ラッパルズ・ホテル」他、映画音楽、テレビのサウンドプロデューサーとして活躍中。

原マズミ

「クジラの跳躍」にて挿入歌の作曲と歌を担当。1980年代後半にアルバム3枚をリリース。強烈な個性でファンを獲得する。近年イラストレーターとして吉本ばなな著「哀しい予感」「N・P」の装丁で注目される。今回はファン待望のレコーディングとなった。CDアルバム「イマジネーション通信」「夢の4倍」「夜の幸」/徳間ジャパン 絵本「ふたコマ絵本/白泉社」詩画集「トロイの月/角川書店」

潮永光生

プロデューサー・ディレクション●1955年熊本生まれ。音楽ディレクターを経て映像プロデューサー、コンテンツ作家へ。システマティックな映像制作に疑問を持ち、パーソナルな作品制作を模索する中たむらしげると出会う。以後氏とのコラボレーションは4作を数え現在に至る。一方、創造的な子供向けソフトに強い関心をいだき、1996年には日本初のCD-ROMエデュテイメントレーベル「SeesawC」を発足。同年マルチメディアグランプリ教育・教養賞を受賞。以後同レーベルより勢力的に作品を発表し、アジア各国でもリリースされる。